

# 読書のすゝめ

その30

H 30 12 / 20

## 第160回 芥川賞・直木賞候補作発表

芥川賞候補作

新聞・雑誌（同人雑誌含む）に発表された純文学短編作品。  
主に無名・新進作家対象。

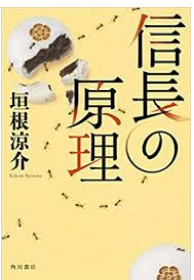
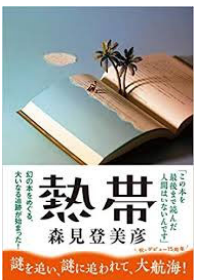
- \* 『ニムロッド』 上田岳弘（群像12月号）
- \* 『ジャップ・ン・ロール・ヒーロー』 鴻池留衣（新潮9月号）
- \* 『戦場のレビヤタン』 砂川文次（文学界12月号）
- \* 『居た場所』 高山羽根子（文芸冬号）
- \* 『平成くん、さようなら』 古市憲寿（文学界9月号）
- \* 『1R（ラウンド）1分34秒』 町屋良平（新潮11月号）

直木賞候補作

新聞・雑誌（同人誌含む）・単行本として発表された短編および長編の大衆文芸作品。  
無名・新進・中堅作家対象。

- \* 『童（わらべ）の神』 今村翔吾（角川春樹事務所）
- \* 『信長の原理』 垣根涼介（KADOKAWA）
- \* 『宝島』 真藤順丈（講談社）
- \* 『ベルリンは晴れているか』 深緑野分（筑摩書房）
- \* 『熱帯』 森見登美彦（文藝春秋）

※発表は来年1月16日です。芥川賞候補作は雑誌発表なので、本校図書館にはありませんが、直木賞候補作では現在森見登美彦『熱帯』が置いてあります。候補作は発表後になります。図書館で購入する予定です。



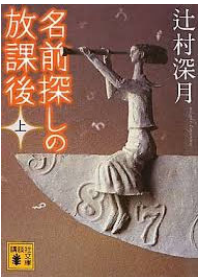
## 第42回 生徒図書委員中央研修会



12月18日県民文化センターにおいて県内の公立私立高校1校・約280名の生徒図書委員が集まって研修会が行われました。本校からも1年次生4名が参加し、11の分科会の中から「ビブリオバトル」・「学校図書館の紹介」・「本の作り」・「新聞活用」で、それぞれ研修してきました。参加しての感想は改めて掲載する予定です。

午前中の全体会では読書感想文入賞者による朗読発表と佐和高校・茗溪学園中学高等学校の図書委員による実践報告があり、本校図書委員会でもさつそくやってみたい活動のヒントをもらうことができました。また、入学時のオリエンテーションでも活用したいと思います。

午後の研修会後にビブリオバトルの決勝が行われ、**古河第一高校中嶋愛留さんが紹介した『名前探しの放課後』(辻村深月)がチャンプ本になりました。**



時に笑いを誘いながら堂々と落ち着いた発表で、「この本読んでみたい！」と思わせる発表でした。来年1月の東京での全国大会での活躍を期待します。

※「今から俺たちの同級生が自殺する。でもそれが誰なのか思い出せないんだ」依田いつかと坂崎あすな。二人はその「誰か」を探し始める。



本校図書館にありますので、ぜひ読んでみてください！

